

DIG 訓練と車いす引き上げ訓練

夏休み期間に教員向けに行われた DIG 訓練と車いす引き上げ訓練に、はじめて地域の方とともに PTA も参加してきました。

◎DIG訓練

DIG 訓練とは、「Disaster Imagination Game (災害想像ゲーム)」の略で、災害時の対応策を考えるための図上訓練です。参加者が地図を囲み、災害リスクや避難経路、避難場所などを議論しながら書き込むことで、地域の防災マップを作成します。

この訓練は、災害を具体的にイメージしやすくし、参加者全員が能動的に防災対策を考えることができる点が特徴です。また、ゲーム感覚で進められるため、楽しく防災意識を高めることができます。



金沢支援学校は浸水予測区域に入ります。もし生徒たちが、学校で大地震にあつたらすぐに遠くには避難はできません。また大きい道路は「緊急自動車専用路」となるため、保護者も学校に近づくことが困難となります。津波警報が出た時にどう生徒を守るか、それぞれのチームで懸命に考えたことを発表していました。地図を使ってリアルにシミュレーションをすることにより、より具体的にこの学校の防災について考える機会になりました。

◎車いす引きあげ訓練

並木消防署署員による、訓練に参加してきました。何かの理由で倒れた人や、動けない人がいたらどのように搬送するかを学びました。最後に搬送して垂直避難する方法を習いました。少しの工夫で、簡単に人を動かせることに驚きました。



消防士による説明を聞きます



二人で運ぶ



毛布を利用した搬送



階段での搬送訓練